# 小・中9年間を見据えた取り組みに対し表彰

# 厚真中央小学校が胆振管内教育実践表彰を受ける

を受け3月 厚真中央小学校(久葉忠男校長)が平成26年度胆振管内教育実践表彰 同校で表彰状の伝達式が行われま

いるほか、 等の取り組みを進めています。 動の充実、 た、算数科の指導方法工夫改善による学習指導の充実や国語科の言語活 心や探究心を持ち、 厚真中央小学校は、平成24年度から文部科学省の教育課程特例 地域の教育資源を活用した教育活動により、 家庭と連携し、 から英語・外国語活動を位置付けた教育活動を実践。 児童が知的好奇 校の

績が認められたもので、 を見据えた各学年での英語活動など、先進的な英語教育の実践 回の表彰は、 、明るく・ もので、町内の学校でよ刃り長≫・・・人と関わり自己表現できる児童の育成の成果などへの功人と関わり自己表現できる児童の育成の成果などへの取り 文部科学省教育課程特例校として、 主体的に学習に取り組む態度を育む活動を推進して 授業と家庭の学びをつなげる学習習慣の定着

組みや、

今

伝達式では、篠原正行

たいと思います」と、英語教育を進めて、 を代表して表彰を受け節目の年に町内の学校 目ということで、一校が特例を受けて を伝達。 来年度からまた特例の りがたく思っています。 させていただき、 述べ久葉校長に表彰状 胆振教育局長が祝意を 2ステ 全町の学校をあげて 久葉校長は「本 ジに入るの 大変あ つの 3 年



厚真町出身の瀬尾さん(苫小牧

3月19日、住拓工業株式会社(苫小牧市)の瀬尾清代表 取締役が町長室を訪れ、地方創生に関する取り組みのため

豊丘出身で、苫小牧厚真会の会長も務める瀬尾さんは 「ふるさと厚真を思う気持ちが強く、何か厚真町に貢献し たいと考えた。また、2代前の町長の時から上厚真の開発

を呼びかけてきたが、近年、上厚真市街地の整備が進んで

市)が地方創生事業へ寄附

篠原胆振教育局長から表彰を受ける久葉校長

にと町に100万円の寄附を行いました。

### 厚真とハスカップの歴史を学ぼう て学び、 まみら 町の特産品である ハスカップについ した。 2年生23人が が開催され、

こども園つみき(宇 ん組園児が3月28日、 が入った手作りのカ レンダーを宮坂町長 ヘプレゼントしまし

代表の園児が、大き な声で「ぼくたちが作 りました。カレンダー です」と町長にカレン ダーを手渡し。宮坂町 長は「どうもありがと 使わせてもらいます から1年生ですね。楽 しみですね」と、園児 にお礼を伝えていま



### みき園児が ゼン

### 厚南中でハスカップMIRAIゼミ

3 月のまちの話題

営協議会(宮西政ン・ツーリズム運 初めに、 厚真町グリ が主催。

理解を深

ハスカップパフェを試食する生徒たち

談などを講義。 スカップ農家を営み、 した企画を参考に、 続いて、 町内でハ 当時、 「ゆう 平成25年に開催され

ノートベルト 全席着用

からは「おいしい!」という声が聞こえて良を加えたハスカップパフェの試食会が行 山口善紀さんが、厚真町とハスカップの歴史や自身の体験スカップ農家を営み、地域特産物マイスターの資格を持つ 講義の中では、品種登録されている「あつ 兼本海音さん(現・厚南中 上厚真小学校6年生だった渡邊咲羅さん、 しげ」と在来種との食べ比べも行われ 町内で菓子店を営む木村信江さんが改 た『あつま子ども未来 1年生) 生徒たち

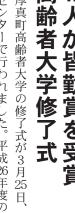


## 高齢者大学修了式12人が皆勤賞を受賞

出席した一人ひとりに賞状を授与 うち12人が皆勤賞で、学長の宮坂町長が、 で行われ ま しました。

# 絵入り交通安全旗を寄贈企業があつまるくんの

せていただきます」とお礼を述べて、旗を受け取った小松豊直総務課長は 進委員会へ寄贈しました。 の絵入りの交通安全旗20枚を厚真町交通安全推 よる交通安全旗寄贈は、 町内で工事を行っている勝幸辰建設株式会社 地域貢献事業の 《献事業の一環として、あの原田健彦課長が3月3 昨 年 10 勝幸辰建設株式会社に 月に続き2回目 あつまるくん 役場を



ップ M I

R A I T 『ハスカ

(村田宏文

### 平成26年度の学生数 1年間にわたってさ

### し上げます」とあいさつを行っていました。した。これまでの努力と頑張りに敬意と感謝を申まざまなことを自ら積極的に学んでいただきま 宮坂学長は「皆さんには、



## 目録を手にする中屋理事長と宮坂町長

### 苫小牧信用金庫が 地域創生の取り組みへ寄附

れ、地域創生に関する事業に対して町に200万円を寄附し、 宮坂町長へ目録を手渡しました。

中屋理事長は「地域貢献の一環として、地域の発展のた めに役立てていただきたく寄附させていただいた。地域創 生の取り組みなど、地域づくりに役立てていただければ」 と話し、宮坂町長は「いつもご寄附をいただき感謝してい ます。町の産業や経済力の増進につながるよう使わせてい ただきます」とお礼を述べていました。

### ときに過ごしを目々を胸に抱いて 飛び立つよ 独りで 未来 (つぎ) の空へ

厚南中学校全校合唱曲『YELL』より引用

3月は旅立ち・別れの季節。

町内の保育園やこども園、小学校、中学校、高校でも卒園式や卒業式が行われ、園児や児童・生徒たち が友人や先生たちと共に過ごした学び舎を巣立ちました。



3/14 宮の森保育園卒園式



3/19 厚真中央小学校卒業証書授与式



厚真中学校卒業証書授与式



3/28 こども関つみき卒間式



3/19 上厚真小学校卒業証書授与式



厚南中学校卒業証書授与式

### まちの話題 plus

### 北海道選抜選手として小寺涼太くん(厚真中)が 東北中学校選抜野球大会に出場



兵頭教育長へ報告をする小寺くんと児島監督

3月14日、15日に宮城県仙台市で開催された、2015年楽天イーグルス 杯第13回東北中学校選抜野球大会に、U-14北海道選抜のメンバーとし て出場した小寺涼太くん (厚真中学校) と、道選抜の監督として大会で 指揮を執った児島芳之監督(厚真中学校教諭)が3月17日、教育委員会 を訪れ、兵頭教育長に大会結果等の報告を行いました。

道内各地から選抜された他の25人のメンバーと共に、昨年11月から合 宿を重ねて大会に臨んだ小寺くんは「適度な緊張感を持って試合に臨め ました。全道・全国の野球を見られて良かったし、いろいろと勉強にな りました。来年はU-15入りを目指したい」と話し、兵頭教育長は「さ らなる高みを目指して、これからも頑張ってください」と激励しました。

### 全国大会を前に練習の成果を披露

厚真郷芸保存会(畑嶋安雄会長)と保護者会による「日本太鼓ジュニ アコンクール壮行会」が3月15日、総合福祉センターで開催され、全国 大会出場メンバーらが練習の成果を披露しました。

厚真郷芸保存会は、幼児から大人まで24人で活動。3月22日に長野県 で開催された日本太鼓ジュニアコンクールには、道南支部代表として小 学生から高校生までのメンバー12人が出場しました。

壮行会には約150人が来場。迫力のある力強い太鼓の演奏に、会場か らは大きな拍手が送られていました。



息の合った演奏を披露する小学生メンバーら



町長らとざっくばらんに意見を交わす参加者

### お茶会ミーティングで意見交換

町民と宮坂町長、兵頭教育長らが自由に語り合う「お茶会ミーティン グ」が3月18日、役場本庁舎応接室で行われました。今年で4回目とな るこの企画。今回も女性の部と青年の部に分けて開催し、参加者と町長、 教育長がざっくばらんに意見交換を行いました。

女性の部では、子育てや福祉、町のPRや広報等の配布負担の軽減、商 店の誘致などについて、また、青年の部では、昨年の婚活イベントや昔 の青年団のような集いの場づくり、就農希望者や農家の子弟に対する研 修資金支援についてなど、さまざまな要望や意見が出されました。

#### 立派な自衛隊員になってとエール

自衛隊入隊予定者激励会が3月17日、総合福祉センターで開催され、 宮坂町長や自衛隊関係者、自衛隊父兄会厚真支部会員、自衛隊募集相談 員らが出席し、平成27年度に陸上自衛隊に入隊予定の中島結衣さん(富 野)を激励しました。

中島さんが自衛隊員を目指したきっかけは「テレビ等で、災害現場で 自衛隊の方たちが救助活動をしているのを見て、自分も体を動かすこと が好きなので、人を助ける活動ができたらと思った。訓練等は辛いと思 うけれど、くじけないで頑張りたいです」と抱負を語っていました。



中島さんを囲んで記念撮影